

小学六年

適性検査A

解答と解説

【例】						
だ	ろ	よ	し	成		
と	い	い	た	り	世	
述	ろ	と	は	ら	立	の
べ	な	述	、	、	つ	中
て	人	べ	世	人	。	に
い	が	て	の	類	世	い
る	い	い	中	が	の	ろ
。	れ	る	に	減	中	い
	ば	。	は	ぶ	の	ろ
	自	文	い	可	人	な
	分	章	る	能	が	人
	の	2	い	性	み	が
	見	で	る	が	な	い
	聞	は	な	あ	同	て
	が	、	人	る	じ	初
	広	世	が	の	タ	め
	が	の	い	で	イ	て
	る	中	る	、	プ	世
	か	に	方	文	だ	界
	ら	い	が	章	と	が

100 20

〔問題2〕					【例】
く	る	こ	で	ー	
の	と	と	な	ピ	
が	、	で	け	ア	
難	少	、	れ	・	
し	し	ー	ば	プ	
く	で	ピ	な	レ	65
な	も	ア	ら	ツ	
る	人	・	な	シ	
。	と	プ	い	ヤ	
	違	レ	ー	ー	
	う	ツ	と	ー	90
人	シ	い	と		
は	ヤ	う	は		
社	ー	社	、		
会	ー	会	ー		
で	が	的	み		
生	い	な	ん		
き	き	圧	な		
て	過	力	同		
い	ぎ	の	じ		

80 60 40 20

〔問題1〕				【例】
ら	の	ず	胴	
。	多	、	枯	
	い	大	病	
	一	勢	に	
	つ	の	弱	
	の	人	い	
	品	口	と	
	種	を	い	
	し	支	う	
	か	え	欠	
	裁	る	点	
	培	こ	が	
	し	と	あ	
	て	が	る	
	い	で	に	
	な	き	も	
	か	る	か	
	つ	、	か	
	た	収	わ	
	か	量	ら	

60 40 20

〔問題3〕

れ	が	考	ば		形	前	の	深	の	意	が	ん	る	
る	う	え	、	質	で	に	か	め	内	見	い	な	に	話
姿	と	ら	対	問	一	質	投	て	容	の	る	の	は	し
勢	い	れ	立	し	つ	問	票	お	に	グ	か	前	、	合
を	う	る	が	合	の	し	し	く	対	ル	も	で	ま	い
大	意	。	起	う	意	合	て	。	し	ー	し	発	ず	で
切	識	だ	き	場	見	っ	決	そ	て	プ	れ	表	、	い
に	を	か	て	面	に	て	め	し	質	分	な	す	無	ろ
し	持	ら	話	で	ま	お	る	て	問	け	い	る	記	い
た	ち	、	し	は	と	け	。	、	を	を	か	の	名	ろ
い	、	そ	合	、	め	ば	意	最	し	す	ら	を	で	な
。	相	れ	い	意	ら	、	見	後	合	る	だ	は	意	意
	手	ぞ	に	見	れ	全	の	に	い	。	。	ず	見	見
	の	れ	な	へ	る	員	内	ど	、	こ	次	か	を	を
	意	の	ら	の	か	が	容	の	意	の	に	し	収	一
	見	考	な	の	ら	納	に	意	見	と	、	い	集	つ
	を	え	い	判	だ	得	対	見	の	き	収	と	す	に
	受	方	こ	を	。	の	し	に	理	、	集	思	る	ま
	け	は	と	す		い	て	す	解	意	し	う	。	と
	入	ち	も	れ		く	事	る	を	見	た	人	み	め

440

400

(配点)

300

200

{ [問題1] 20点  
[問題2] 30点  
[問題3] 50点 } 計100点

【解説】

【問題1】

**B1** 情報を獲得する 置き換え 理由 具体・抽象 関係づけ

アイルランド国内のジャガイモがいつぱんに病気になる大惨事が起きた理由を答える問題です。理由は——線①の後に書かれています。「アイルランドの人たちにとつて、ジャガイモは重要な食糧でした。大勢の人口を支えるためには、収量の多いジャガイモが『優れた株』であります。しかし、本当に『優れた株』であれば大惨事になることはありません。「胴枯病」という病気に弱い」という欠点があったのです。にもかかわらず、アイルランドでは「全国で、一つの品種しか栽培されていない（かつた）」のです。だから、胴枯病が大発生した一九世紀半ばに壊滅的な被害を受けたのです。これらの内容を過不足なくまとめることができたかどうか確認しましょう。

- ※以下のポイントを中心にみます。
- ① 「胴枯病という病気に弱いという欠点がある」と同等の内容が書かれているか
  - ② 「一つの品種しか栽培していなかった」と同等の内容が書かれているか
  - ③ 表記や表現が正しいか

【問題2】

**B2** 情報を獲得する 理由 比較 置き換え 具体・抽象

関係づけ

「ピア・プレッシャー」という言葉の意味と、「ピア・プレッシャー」がいき過ぎるとどのようなことが起こるのかという二

点を具体的に説明する問題です。「ピア・プレッシャー」という言葉の意味は、——線①の直後に書かれています。「同調圧力」と日本語には訳される。「みんな同じでなければならぬ」という、社会的な圧力のことだ」とあります。この部分よりさらに後に「ピア・プレッシャー」がいき過ぎると起こることについて書かれています。「みんなと同じ」がいき過ぎると、ちよつとも人と違っている人は、この社会で生きていくのが難しい、ということになってしまふ」とあります。これらの部分を字数制限に合わせてまとめることができたか確認しましょう。

※以下のポイントを中心にみます。

- ① 「ピア・プレッシャー」とは、「みんな同じでなければならぬ」という、社会的な圧力のこと」と同等の内容が書かれているか
- ② 「ピア・プレッシャーがいき過ぎると」社会で生きていくのが難しくなる」と同等の内容が書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

【問題3】

**C2** 情報を獲得する 理由 比較 具体・抽象 関係づけ 推論

文章を読んだケイさんとリョウさんのやりとりを通して、**文章1**と**文章2**の内容をもとに自分の考えを表現する問題です。条件に三段落構成で書くことと、それぞれの段落で書くべきことが示されています。

第一段落では、**文章1**と**文章2**それぞれの、世の中にはいろいろな人がいる方がよいという根拠をまとめます。**文章1**の根拠は、最後から二つ目の段落と最後の段落に書か

れています。**文章2**の根拠は、『赤毛のアン』に出てくるアンの学校を例に出し、一つの教室で年齢の違う子どもたちが一緒に勉強していることを「意外に重要なことのように僕には思える」としています。その理由を「自分とは違う年頃の子と接することで、世界は広がるんじゃないだろうか」としています。ここに世の中にはいろいろな人がいる方がよいという根拠があると考えられます。

第二段落では、クラスの話し合いでばらばらな意見を一つにまとめる方法を理由とともに説明します。多数決をとる方法、意見をその場でも出し合う方法などがあります。読み手にわかりやすく伝えるためには書く前にどのような順序で説明するのか骨組みをメモしておくこと書き進めやすくなります。

第三段落では、第二段落で説明した方法をとるときに大切にしたいことを理由とともに説明します。今回、**文章1**と**文章2**を通して、世の中にはいろいろな人がいる方がよいという考えを知り得ました。これらのことを生かして大切にしたいことを考えるのもよいでしょう。たとえば、話し合いではさまざまな意見が出ることは必須ですから、それぞれの考え方は異なるということを念頭に置き、まずは他人の意見を受け入れる姿勢を大切にしたい、という考えがあります。作文で意見を書くときに、このように文章の内容を手がかりにすると、自分の考えを構築しやすくなります。

※以下のポイントを中心に見ます。

第一段落

① **文章1**の、「世の中にはいろいろな人がいて初めて世界が成り立つのであり、みな同じタイプの人では人類が減んでしまうかもしれないから」と同等の内容が書かれているか

② **文章2**の、「世の中にはいろいろな人がいれば自分の見

聞が広がるから」と同等の内容が書かれているか

③ ①や②に過不足、文や語句の表現、文の意味に誤りがないか

第二段落

④ クラスの話し合いでばらばらな意見を一つにまとめる方法が書かれているか

⑤ ④の理由が書かれているか

⑥ ④や⑤に過不足、文や語句の表現、文の意味に誤りがないか

第三段落

⑦ ④の方法をとるとき、大切にしたいことが書かれているか

⑧ ⑦の理由が書かれているか

⑨ ⑦や⑧に過不足、文や語句の表現、文の意味に誤りがないか

全体について

⑩ 段落が問題の指示に従って分けられているか

⑪ 解答用紙の使い方が正しいか

⑫ 誤字・脱字・送り仮名

⑬ 字数制限が守られているか